

学校経営に関わる方針

1 本校の教育目標

<h1>ひらく子</h1> <p>～ 心を開き 明日を拓く ～ 【平成12年改訂】</p>	
自立した一人の人間として 他とともによりよく生きる	未来に向け 今を大切に生きる

2 経営の基本方針

【目指す学校像】～ウェルビーイングを実現し、児童と教師が学ぶ楽しさや期待を感じながら共に学びに向かう学校～

未来を生きる本校児童に「生きる力」を育み、教育目標「ひらく子」を具現化するということは、学校生活全般において、他者と関わりながら、共に学び、人間性を涵養する教育を実現することである。そのためには、学校に集う児童と教師のウェルビーイングを確保し、共に学び、生活する場としての学校の価値を最大化する必要がある。そこで、目指す学校像として「ウェルビーイングを実現し、児童と教師が学ぶ楽しさや期待を感じながら共に学びに向かう学校」を掲げ、「魅力ある学校づくり・授業づくり」を推進することを学校経営の基本方針とする。

3 育成を目指す資質・能力の重点（小・中共通）

これまで教育目標の具体として掲げられていたキーワードを「義務教育9年間で目指す子供像」として再構築し、育成を目指す資質・能力の視点で暫定的に整理した。正式な「義務教育9年間で目指す子供像」については、義務教育学校開校準備委員会の教育課程編成部会において協議する。

【義務教育9年間で目指す子供像（15歳の姿）】

他者を肯定的にとらえ 自己有用感をもって 夢・目標に向かって行動する子供		
○基礎的・汎用的能力	○逞しき・レジリエンス	○自分を大切にする姿勢・自己指導能力
○情報活用能力・コミュニケーション能力	○共感と寛容性	○郷土を愛する心
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力	学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性

愛別小学校グランドデザイン

教育目標 『 ひらく子 』
 ～ 心を開き 明日を拓く ～

義務教育で目指す子供像（15歳の姿）

他者を肯定的にとらえ 自己有用感をもって 夢・目標に向かって行動する子供		
○基礎的・汎用的能力	○逞しさ・レジリエンス	○自分を大切にする姿勢・自己指導能力
○情報活用能力・コミュニケーション能力	○共感と寛容性	○郷土を愛する心
実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力	学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性

重点教育目標

主体的に学びに向かう子供の育成 ～ 一人一人のよさを徹底的に伸ばして ～

『何ができるようになる』
 ○教育目標の具現へ ○各教科の資質・能力習得へ

学校経営の
 カリキュラムマネジメント
 学校評価と改善の方策

評価と指導の一体化
 各調査(エビデンス)

学習指導・評価の
 カリキュラムマネジメント
 (単元で・題材で)

『学校経営 10 の指標』
 学校経営の評価と改善

『どのように支援する』
 子どものニーズに合わせて
 一人一人の丁寧な見とりで

『どのように学ぶ』
 授業をデザイン 体験を演出
 一人一人が生きる学級経営で

キャリア教育の視点で
 ～夢と希望を
 自主と自律を～

『何を学ぶ』
 愛別小の特色ある教育課程

『何が必要か』

[チームとしての学校] 「いじめ・不登校」を組織で 関係機関との連携で	経営の共有・一貫・継続で 専門性の向上(研修)で	[社会に開かれた教育課程] 地域リソースの活用で 学校運営協議会との協働で	保護者との協力(生活・安全)で 小中一貫・連携教育の推進で
--	-----------------------------	--	----------------------------------

- 学力向上への取組**
- 「確かな学力」の育成
知識・技能の確実な定着
思考力・判断力・表現力の伸展
主体的に学ぶ態度の陶冶
 - ロードマップに則した「学習指導の加付カリキュラムマネジメント」
 - 情報の視覚化「ICTの活用」
 - 研修を柱に授業改善
 - 朝学習の活用
「チャレンジ国語・算数」
 - 「学習の手引き」の徹底
 - 自学自習の取組

- 体力向上・生活・安全への取組**
- チャレンジタイムとスポーツ大会
を活用した運動の日常化
「チャレンジラン、チャレンジジャンプ」
 - 新体力テスト結果の活用
「体育の授業の改善」
 - 食育・性教育・情報モラル教育
 - 望ましい生活習慣の定着
「家庭学習・規則正しい生活・読書」
 - 教育環境の整備
 - 危機管理の徹底

- 「豊かな心」育成の取組**
- 『道徳科』指導の充実
「考え、議論する道徳」の実践と評価
 - フロンティア活動の充実
 - 全校合唱の推進「心をひとつに」
 - 児童会活動の充実
「縦割り班活動・いじめを許さない取組」
 - ボランティア活動、自然体験、
集団活動の推進
 - 教育相談の充実「悩みの解消」
 - 朝読書の推進

- 地域連携の取組**
- 幼児センター、中学校との接続
 - あいべつ校との協力
 - 小中一貫・連携教育
の基盤づくり「授業・行事」
 - 社会教育事業への参加
アイペットバンド、音楽行進
 - 愛別町連携教育推進委員会
『新 愛×愛プラン』
 - 保護者との協働「理解と共有」
 - 適切な情報提供「説明責任」
 - コミュニティ・スクールとして機能
「経営の加付カリキュラムマネジメント」

全ての教育活動で（教科等横断的な視点で）

道徳教育の視点 ○教育目標の具現に向け「よりよく生きる」ための基盤 ○道徳教育推進教師を柱に指導体制を充実
 特別支援教育の視点 ○「個別の支援計画」で連携、「個別の指導計画」で協力 ○コーディネーターを柱に子どものニーズに即した学校体制を構築

キャリア教育の視点 ○自己有用感（自己理解） ○自己管理能力 ○社会形成能力の基盤 ○人間関係形成能力
 ■中学校への接続 ■言語能力と情報活用能力（情報モラル含）の基盤 □課題解決能力とキャリア・プランニング能力の基盤

教師のアプローチ 『主体的・対話的で深い学び』を軸に 言語活動を充実させながら	子どもの学びの質を上げる指導 □褒める・励ます・具体的に示す □最後まで頑張らせる場の設定 □「学ぶ意味・意義」を指導 □「学ぶ楽しさ」を演出 □自ら創意・工夫する場の設定 □多種多様な体験活動～保護者、地域社会と連携・協働	自分の集団を大切にする指導 □あいさつの励行 □いじめを許さない取組 □地域社会とふれあう場の設定 □仲間と協力する場の設定	確かな学力、健やかな体づくり □「分かる授業」の実践 □語彙を増やし表現力を育成 □自分を表現する場の設定 □仲間と話し合う場の設定 □健康・安全を促す取組 □読書指導の推進
--	---	---	--